

Ⅲ 結果の概要

利用上の注意

- 1 統計表の数字は、表章単位未満の位で四捨五入してあること、また、「総数」に「分類不能」、「不詳」の数を含むことから、「総数」と内訳を合計した数値とは必ずしも一致しない。
- 2 統計表中の「0」、「0.0」、「0.00」は、集計した数値が表章単位に満たないものである。
- 3 統計表中の「-」は、該当の行動者が皆無の場合及び同値の人口や標本数が連続するため省略している箇所である。
- 4 統計表中の「…」は、当該属性の標本数が皆無の場合及び標本数が10未満で、結果精度の観点から表章していない箇所である。
- 5 生活時間に係る結果の平日及び週全体の総平均時間及び行動者平均時間は各曜日別の平均時間から算出しているため、下記の場合は「…」と表示している。
 - ・月曜日～金曜日までの当該属性標本がすべてない場合の「平日」の総平均時間及び行動者平均時間
 - ・平日、土曜日及び日曜日のうち、1つでも総平均時間が「…」で表示される場合、その属性をもった週全体の総平均時間
 - ・月曜日～日曜日までの当該属性標本がすべてない場合、週全体の行動者平均時間

第 1 生活時間

1 1日の生活時間の配分

(1) 概観

① 1次活動時間は増加，2次活動時間及び3次活動時間は減少

本県に住んでいる10歳以上の人について，1日の生活時間（週全体平均。以下「週全体」という。）をみると，1次活動¹⁾時間が10時間48分，2次活動²⁾時間が6時間53分，3次活動³⁾時間が6時間19分となっている。

平成18年と比べると，1次活動時間は5分の増加，2次活動時間は5分の減少，3次活動時間は1分の減少となっている。（表1-1）

- 1) 睡眠，食事など生理的に必要な活動
- 2) 仕事，家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3) 1次活動，2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

② 2次活動時間及び3次活動時間において男女間の差が拡大

生活時間を男女別にみると，男性は1次活動時間が10時間43分，2次活動時間が6時間50分，3次活動時間が6時間28分，女性は1次活動時間が10時間53分，2次活動時間が6時間57分，3次活動時間が6時間11分となっており，1次活動時間及び2次活動時間は女性が長く，3次活動時間は男性が長くなっている。

平成18年と比べると，男性は1次活動時間が10分の増加，2次活動時間が10分の減少，3次活動時間が1分の増加となっており，女性は1次活動時間が増減なし，2次活動時間が2分の増加，3次活動時間が2分の減少となっている。

生活時間の男女の差を平成18年と比べると，1次活動時間は20分差が10分差に，2次活動時間は5分差が7分差に，3次活動時間は14分差が17分差になっており，1次活動時間では差は縮小したが，2次活動時間及び3次活動時間では拡大している。（表1-1）

③ 平日は2次活動時間，日曜日は3次活動時間が減少，土曜日は1次活動時間が増加

生活時間を曜日別にみると，平日は1次活動時間が10時間35分，2次活動時間が7時間46分，3次活動時間が5時間39分，土曜日は1次活動時間が11時間6分，2次活動時間が5時間8分，3次活動時間が7時間46分，日曜日は1次活動時間が11時間30分，2次活動時間が4時間17分，3次活動時間が8時間13分となっており，1次活動時間及び3次活動時間は日曜日が最も長く，2次活動時間は平日が最も長くなっている。

平成18年と比べると，平日は1次及び3次活動時間が増加，2次活動時間が減少となっている。土曜日は2次及び3次活動時間が減少，1次活動時間が増加し，日曜日は1次及び2次活動時間が増加，3次活動時間が減少となっている。（表1-2）

④ 3次活動時間は本県、全国ともに増加傾向

過去25年間の生活時間の推移を、比較可能な年齢区分である15歳以上の人についてみると、全国、本県ともに1次活動時間及び3次活動時間は増加傾向、2次活動時間は減少傾向となっている。(表1-3, 図1-1, 2)

表1-1 男女、行動の種類別生活時間(平成18年, 23年)一週全体

	(時間. 分)								
	総数			男			女		
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減
1次活動	10.48	10.43	0.05	10.43	10.33	0.10	10.53	10.53	0.00
睡眠	7.46	7.44	0.02	7.53	7.47	0.06	7.40	7.41	-0.01
身の回りの用事	1.21	1.18	0.03	1.12	1.07	0.05	1.30	1.28	0.02
食事	1.40	1.41	-0.01	1.37	1.39	-0.02	1.43	1.44	-0.01
2次活動	6.53	6.58	-0.05	6.50	7.00	-0.10	6.57	6.55	0.02
通勤・通学	0.32	0.31	0.01	0.40	0.40	0.00	0.24	0.22	0.02
仕事	3.40	3.45	-0.05	4.47	5.04	-0.17	2.32	2.27	0.05
学業	0.42	0.39	0.03	0.43	0.40	0.03	0.40	0.38	0.02
家事	1.20	1.22	-0.02	0.16	0.15	0.01	2.24	2.28	-0.04
介護・看護	0.02	0.02	0.00	0.01	0.01	0.00	0.04	0.04	0.00
育児	0.12	0.14	-0.02	0.04	0.04	0.00	0.20	0.23	-0.03
買い物	0.26	0.24	0.02	0.18	0.16	0.02	0.34	0.33	0.01
3次活動	6.19	6.20	-0.01	6.28	6.27	0.01	6.11	6.13	-0.02
移動(通勤・通学を除く)	0.29	0.31	-0.02	0.27	0.30	-0.03	0.31	0.33	-0.02
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.24	2.22	0.02	2.22	2.29	-0.07	2.25	2.16	0.09
休養・くつろぎ	1.29	1.26	0.03	1.30	1.23	0.07	1.28	1.30	-0.02
学習・自己啓発・訓練(学業以外) 1)	0.11	0.13	-0.02	0.12	0.13	-0.01	0.11	0.12	-0.01
趣味・娯楽	0.45	0.42	0.03	0.53	0.47	0.06	0.37	0.38	-0.01
スポーツ	0.13	0.17	-0.04	0.16	0.22	-0.06	0.10	0.12	-0.02
ボランティア活動・社会参加活動	0.03	0.05	-0.02	0.02	0.05	-0.03	0.04	0.04	0.00
交際・付き合い	0.18	0.19	-0.01	0.18	0.17	0.01	0.18	0.22	-0.04
受診・療養	0.06	0.08	-0.02	0.07	0.06	0.01	0.06	0.09	-0.03
その他	0.20	0.17	0.03	0.20	0.16	0.04	0.21	0.18	0.03
(再掲)									
家事関連 2)	2.00	2.02	-0.02	0.39	0.36	0.03	3.22	3.28	-0.06
休養等自由時間活動 3)	3.53	3.48	0.05	3.52	3.52	0.00	3.53	3.46	0.07
積極的自由時間活動 4)	1.12	1.17	-0.05	1.23	1.27	-0.04	1.02	1.06	-0.04

1) 平成18年の調査項目名は「学習・研究(学業以外)」

2) 家事、介護・看護、育児及び買い物

3) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

4) 学習・自己啓発・訓練(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

表 1-2 男女，行動の種類，曜日別生活時間（平成 18 年，23 年）

(時間. 分)

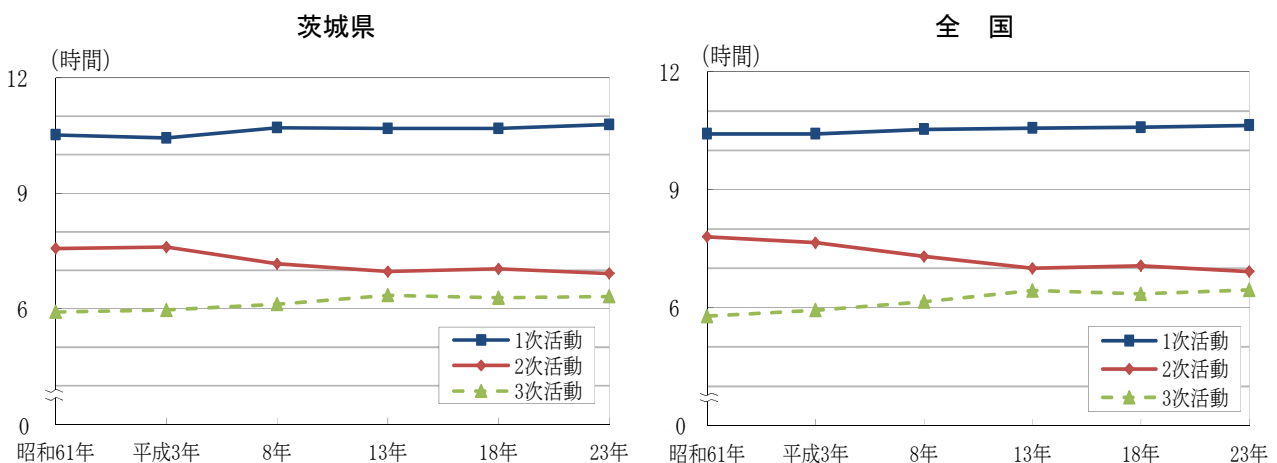
		平成23年			平成18年			増 減		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1次活動	10.35	11.06	11.30	10.31	10.57	11.28	0.04	0.09	0.02
	2次活動	7.46	5.08	4.17	7.52	5.10	4.11	-0.06	-0.02	0.06
	3次活動	5.39	7.46	8.13	5.37	7.53	8.21	0.02	-0.07	-0.08
男	1次活動	10.31	11.00	11.24	10.18	10.49	11.29	0.13	0.11	-0.05
	2次活動	7.57	4.37	3.28	8.13	4.38	3.22	-0.16	-0.01	0.06
	3次活動	5.33	8.23	9.09	5.29	8.34	9.09	0.04	-0.11	0.00
女	1次活動	10.40	11.12	11.37	10.43	11.06	11.27	-0.03	0.06	0.10
	2次活動	7.35	5.40	5.06	7.32	5.42	4.59	0.03	-0.02	0.07
	3次活動	5.46	7.09	7.17	5.44	7.12	7.34	0.02	-0.03	-0.17

表 1-3 行動の種類別生活時間の推移（昭和 61 年～平成 23 年）一週全体，15 歳以上，茨城県・全国

(時間. 分)

年 次	茨城県			全 国		
	1次活動	2次活動	3次活動	1次活動	2次活動	3次活動
昭和61年	10.31	7.34	5.55	10.25	7.48	5.47
平成3年	10.26	7.36	5.58	10.25	7.39	5.56
平成8年	10.42	7.10	6.07	10.32	7.18	6.09
平成13年	10.41	6.58	6.21	10.34	7.00	6.26
平成18年	10.41	7.02	6.17	10.35	7.04	6.21
平成23年	10.47	6.55	6.19	10.38	6.55	6.27

図 1-1 行動の種類別生活時間の推移（昭和 61 年～平成 23 年）一週全体，15 歳以上



(2) 年齢階級別にみる生活時間

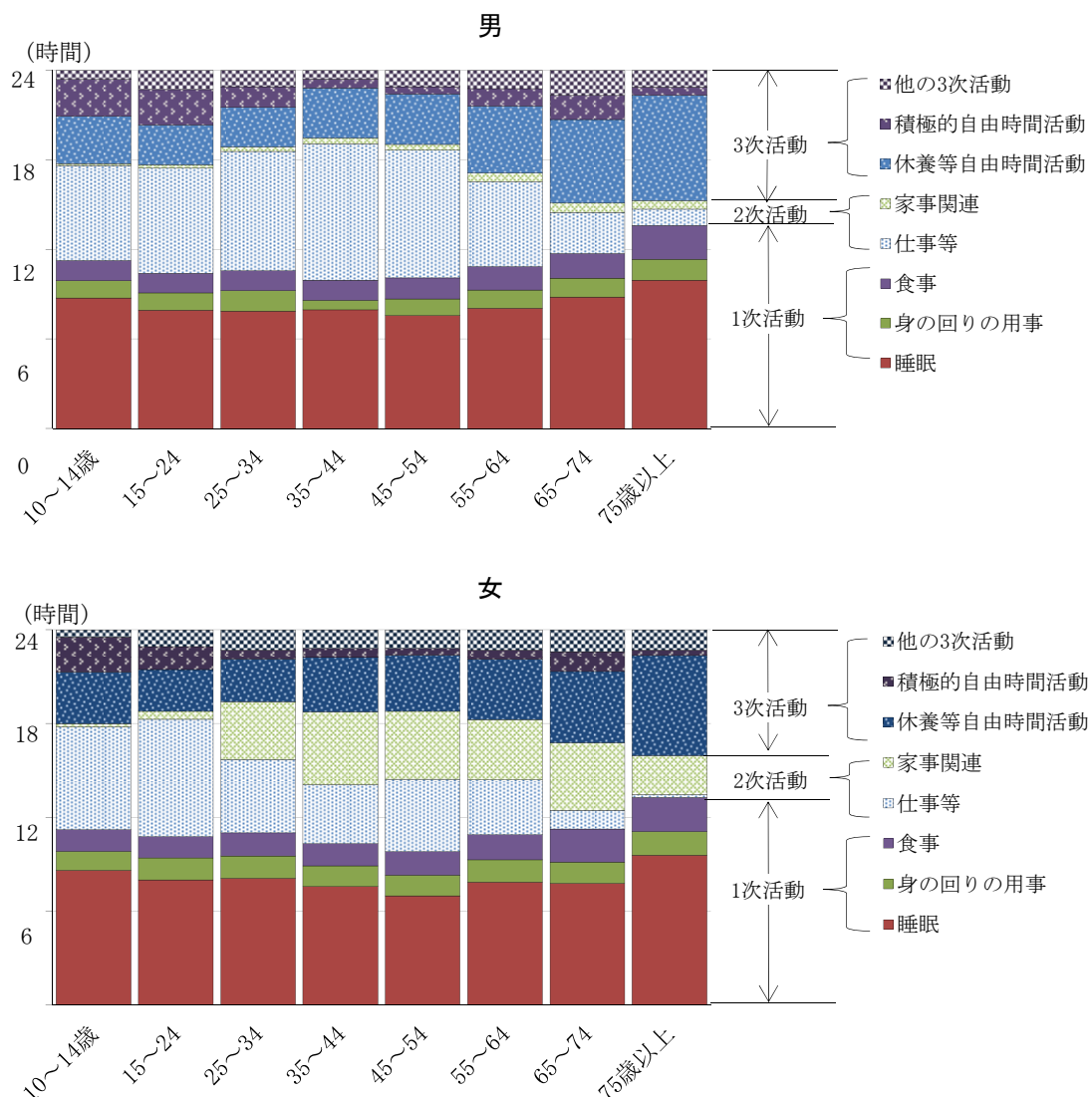
① 2次活動時間は男性は35～44歳、女性は45～54歳で最も長い

年齢階級別に生活時間をみると、1次活動時間は、男性は35～44歳（9時間52分）、女性は45～54歳（9時間55分）が最も短く、75歳以上が男女ともに最も長くなっている。

2次活動時間は、男女ともに25～54歳の各階級で8時間以上であり、男性は35～44歳（9時間13分）が最も長く、女性は45～54歳（8時間38分）が最も長くなっている。

3次活動時間は、男性は35～44歳（4時間55分）が最も短く、65～74歳及び75歳以上が最も長くなっている。女性は25～34歳（5時間2分）が最も短く、75歳以上が最も長くなっている。（図1-2）

図1-2 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間 一週全体



注1) 「仕事等」は、「通勤・通学」、「仕事」及び「学業」

注2) 「他の3次活動」は、「移動（通勤・通学を除く）」、「交際・付き合い」、「受診・診療」及び「その他」

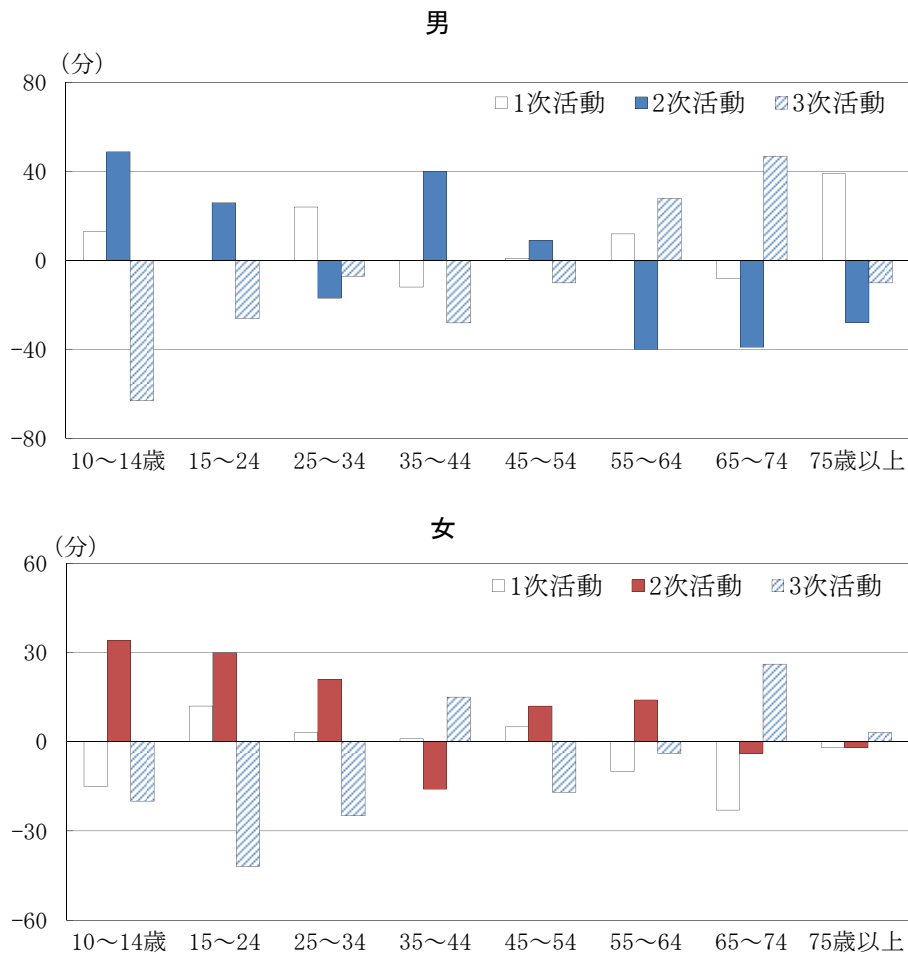
② 男性は10～14歳、女性は15～24歳で3次活動時間が最も減少

生活時間を平成18年と比べると、1次活動時間は、男性は10分の増加、女性は増減なしとなっている。年齢階級別にみると、男性は10～14歳、25～34歳、45～64歳及び75歳以上で増加、それ以外では減少又は横ばいとなっている。女性は、15～54歳で増加、それ以外では減少となっている。

2次活動時間は、男性は10分の減少、女性は2分の増加となっている。年齢階級別にみると、男性は10～24歳及び35～54歳で増加、それ以外では減少となっている。女性は35～44歳及び65歳以上で減少、それ以外では増加となった。

3次活動時間は、男性は1分の増加、女性は2分の減少となっており、年齢階級別にみると、男性は55～74歳、女性は35～44歳及び65歳以上のみ増加、それ以外は減少している。なかでも、男性は10～14歳で1時間3分、女性は15～24歳で42分と、若い年齢階級で減少幅が最も大きくなった。(図1-3)

図1-3 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間の増減（平成18年～23年）一週全体

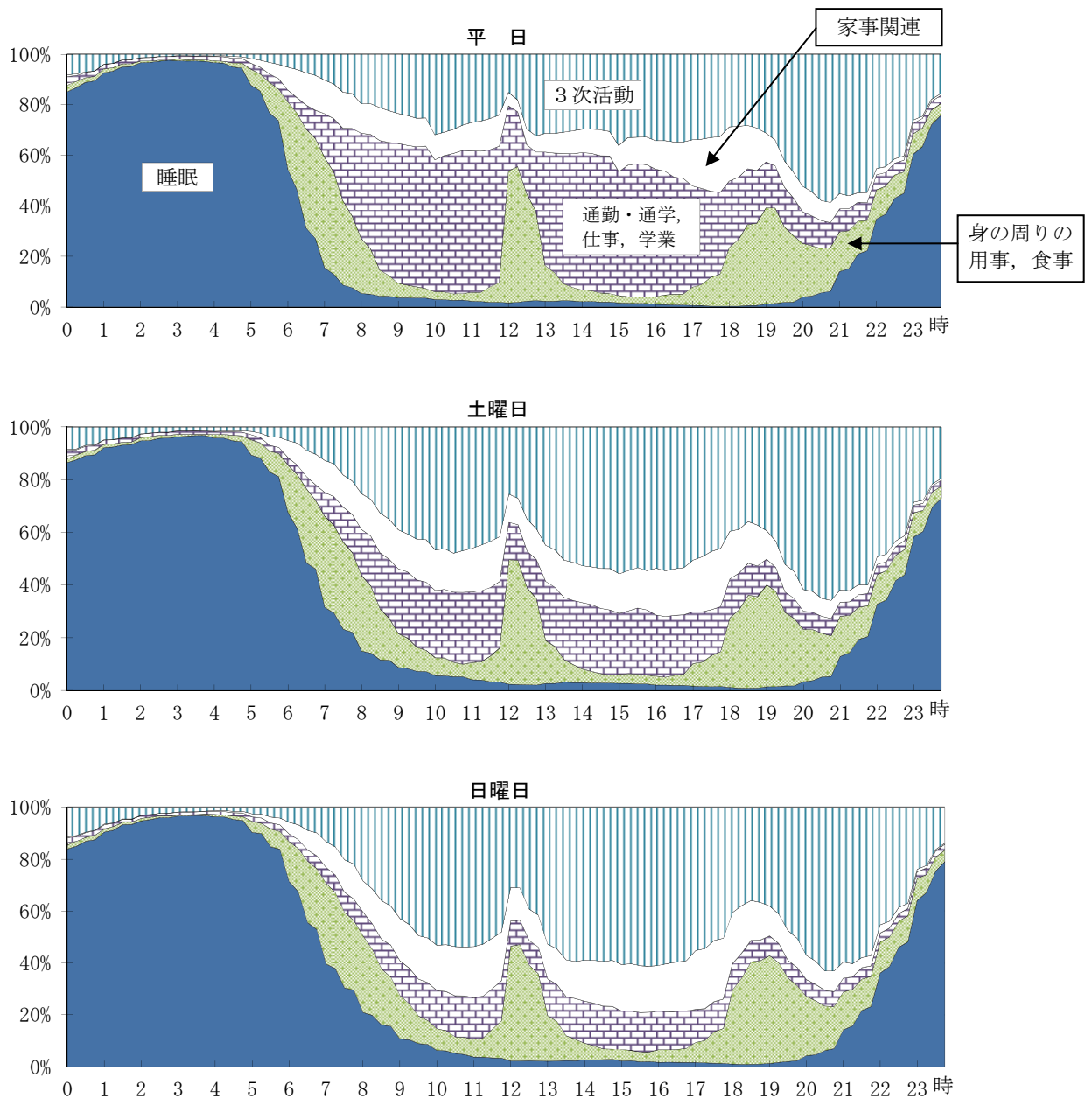


(3) 時間帯別にみる行動者率

平日に3次活動の行動者率が5割を超えるのは20時から22時までの間

行動者率（人口に占める行動者数の割合）を曜日、時間帯別にみると、3次活動の行動者率が5割を超えるのは、平日では20時から22時までの間、土曜日は13時30分から17時15分までの間及び19時30分から22時までの間、日曜日は9時45分から11時45分までの間、13時から18時までの間及び19時45分から22時までの間となっている。（図1-4）

図1-4 曜日、行動の種類、時間帯別行動者率



2 1 次活動

(1) 睡眠

① 睡眠時間は45～54歳で最も短い

睡眠時間は7時間46分で、男性は7時間53分、女性は7時間40分と男性が13分長くなっている。

年齢階級別にみると、45～54歳が7時間5分と最も短く、次いで35～44歳が7時間18分などとなっており、75歳以上が9時間17分と最も長くなっている。

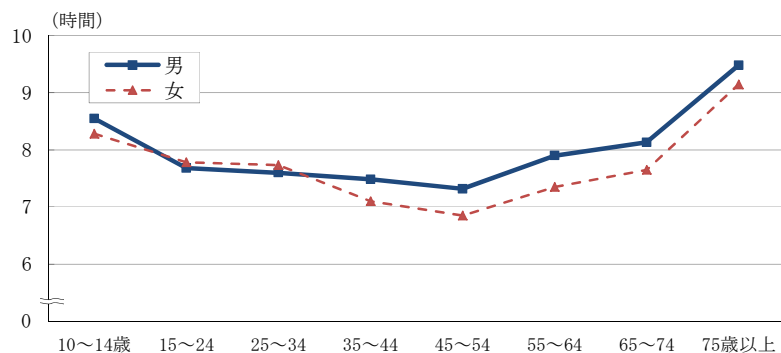
これを男女別にみると、15～34歳を除くすべての年齢階級で男性が長く、特に55～64歳では女性より30分以上長くなっている。

平成18年と比べると、2分の増加となっており、年齢階級別にみると、15～34歳、55～64歳及び75歳以上で増加している。(表2-1, 図2-1)

表2-1 男女、年齢階級別睡眠時間(平成18年, 23年)一週全体

年 齢	総 数			男			女			男女差 (男-女)
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年
総 数	7.46	7.44	0.02	7.53	7.47	0.06	7.40	7.41	-0.01	0.13
10～14歳	8.25	8.28	-0.03	8.33	8.25	0.08	8.17	8.30	-0.13	0.16
15～24歳	7.44	7.43	0.01	7.41	7.48	-0.07	7.47	7.39	0.08	-0.06
25～34歳	7.40	7.34	0.06	7.36	7.34	0.02	7.44	7.34	0.10	-0.08
35～44歳	7.18	7.19	-0.01	7.29	7.27	0.02	7.06	7.10	-0.04	0.23
45～54歳	7.05	7.08	-0.03	7.19	7.23	-0.04	6.51	6.53	-0.02	0.28
55～64歳	7.37	7.32	0.05	7.54	7.41	0.13	7.21	7.24	-0.03	0.33
65～74歳	7.53	7.59	-0.06	8.08	8.05	0.03	7.39	7.53	-0.14	0.29
75歳以上	9.17	9.10	0.07	9.29	8.58	0.31	9.09	9.17	-0.08	0.20

図2-1 男女、年齢階級別睡眠時間 一週全体



② すべての曜日で睡眠時間が増加

睡眠時間を曜日別にみると、1日（午前0時から起算する24時間）のうち、平日が7時間35分、土曜日が8時間4分、日曜日が8時間23分となっており、平日に比べ日曜日は48分長くなっている。これを平成18年と比べると、すべての曜日で睡眠時間が長くなっている。

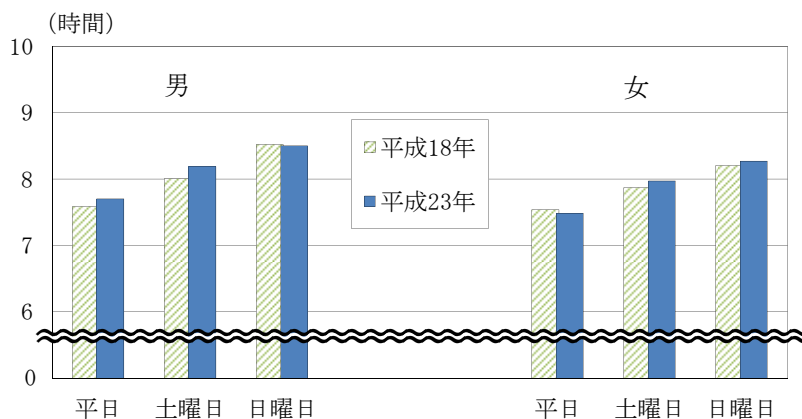
男女別にみると、すべての曜日で女性より男性の方が睡眠時間が長くなっており、平成18年と比べると男性は平日及び土曜日で増加し、日曜日は減少、女性は土曜日及び日曜日で増加し、平日は減少となっている。（表2-2、図2-2）

表2-2 男女、曜日別睡眠時間（平成18年、23年）

(時間, 分)

曜 日	総 数			男			女		
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減
平 日	7.35	7.34	0.01	7.42	7.35	0.07	7.29	7.32	-0.03
土曜日	8.04	7.56	0.08	8.11	8.00	0.11	7.58	7.52	0.06
日曜日	8.23	8.21	0.02	8.30	8.31	-0.01	8.16	8.12	0.04

図2-2 男女、曜日別睡眠時間（平成18年、23年）



③ 睡眠時間は、過去 25 年間で男性は 16 分、女性は 6 分の減少

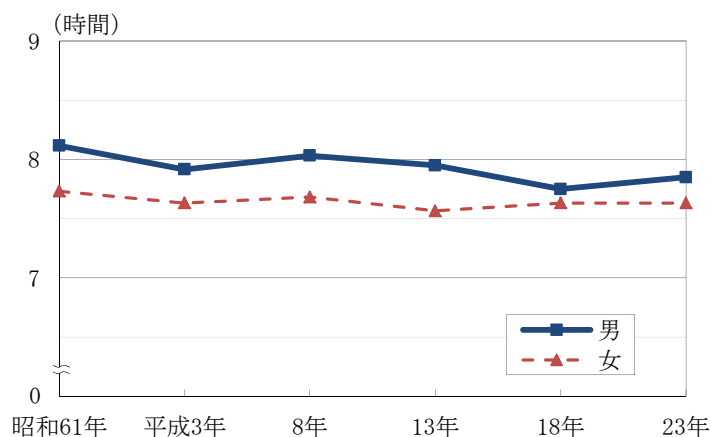
過去 25 年間の睡眠時間の推移を、比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について男女別にみると、男性は平成 8 年以降減少が続いていたが、23 年に増加に転じ、昭和 61 年と比べて 16 分の減少となっている。女性は増加と減少を繰り返していたが、平成 23 年は横ばいとなっており、昭和 61 年と比べると 6 分の減少と、男性より減少幅が小さい。

全国と比較すると、男女ともに 5 分上回っている。(表 2-3, 図 2-3)

表 2-3 男女別睡眠時間の推移 (昭和 61 年～平成 23 年) 一週全体, 15 歳以上, 茨城県・全国

年次	茨城県		全国		茨城県-全国	
	男	女	男	女	男	女
昭和61年	8.07	7.44	7.56	7.39	0.11	0.05
平成3年	7.55	7.38	7.50	7.34	0.05	0.04
平成8年	8.02	7.41	7.52	7.36	0.10	0.05
平成13年	7.57	7.34	7.49	7.35	0.08	-0.01
平成18年	7.45	7.38	7.47	7.32	-0.02	0.06
平成23年	7.51	7.38	7.46	7.33	0.05	0.05

図 2-3 男女別睡眠時間の推移 (昭和 61 年～平成 23 年) 一週全体, 15 歳以上, 茨城県



(2) 身の回りの用事

① 身の周りの用事の時間は、すべての年齢階級で男性より女性の方が長い

身の回りの用事の時間は1時間21分で、男性は1時間12分、女性は1時間30分と女性が18分長くなっている。

年齢階級別にみると、35～44歳が1時間10分と最も短く、次いで10～14歳が1時間11分などとなっており、75歳以上が1時間39分と最も長くなっている。

これを男女別にみると、すべての年齢階級で女性の方が長くなっており、35～44歳では25分、15～24歳では24分の差となっている。

平成18年と比べると、3分の増加となっており、年齢階級別にみると35～44歳及び55～74歳を除くすべての年齢階級で増加となっている。(表2-4、図2-4、5)

表2-4 男女、年齢階級別身の回りの用事の時間(平成18年、23年)一週全体

年齢	総数			男			女			男女差 (男-女)
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年
総数	1.21	1.18	0.03	1.12	1.07	0.05	1.30	1.28	0.02	-0.18
10～14歳	1.11	1.06	0.05	1.08	1.01	0.07	1.15	1.10	0.05	-0.07
15～24歳	1.18	1.14	0.04	1.07	0.59	0.08	1.31	1.30	0.01	-0.24
25～34歳	1.29	1.16	0.13	1.27	1.04	0.23	1.31	1.30	0.01	-0.04
35～44歳	1.10	1.13	-0.03	0.58	1.08	-0.10	1.23	1.19	0.04	-0.25
45～54歳	1.15	1.11	0.04	1.06	1.02	0.04	1.25	1.20	0.05	-0.19
55～64歳	1.21	1.21	0.00	1.13	1.11	0.02	1.30	1.31	-0.01	-0.17
65～74歳	1.23	1.26	-0.03	1.16	1.17	-0.01	1.30	1.35	-0.05	-0.14
75歳以上	1.39	1.32	0.07	1.30	1.21	0.09	1.44	1.40	0.04	-0.14

図2-4 男女、年齢階級別身の回りの用事の時間 一週全体

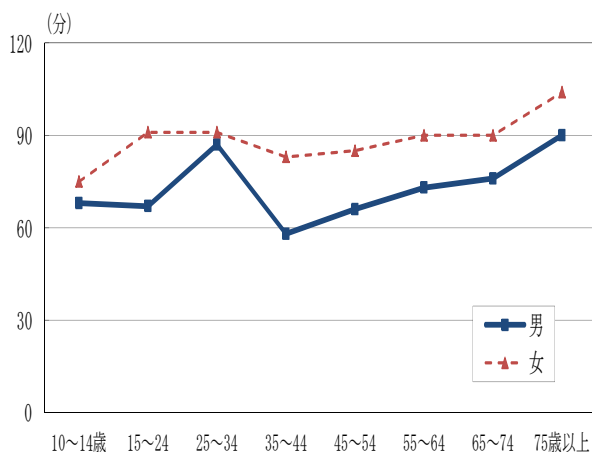
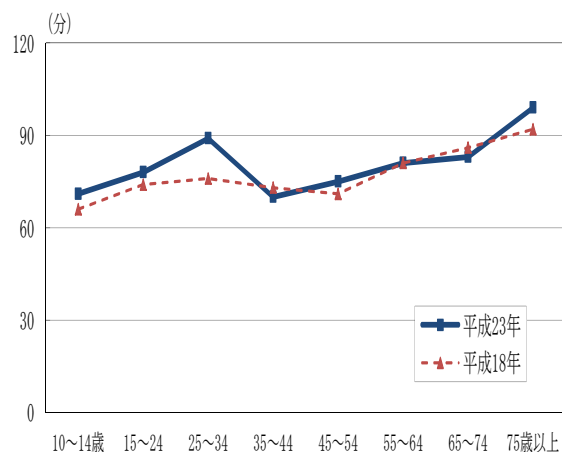


図2-5 年齢階級別身の回りの用事の時間(平成18年、23年)一週全体



② 身の周りの用事の時間は過去 25 年間で男女ともに増加し続けている

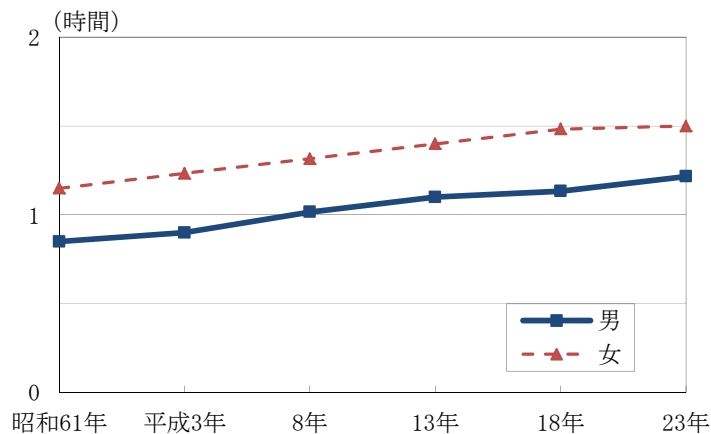
過去 25 年間の身の回りの用事の時間の推移を、比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について男女別にみると、男女ともに一貫して増加し続けており、昭和 61 年と比べると、男性は 22 分、女性は 21 分の増加となっている。

全国と比較すると、男性は 4 分上回っており、女性は差がない。(表 2-5, 図 2-6)

表 2-5 男女別身の回りの用事の時間の推移（昭和 61 年～平成 23 年）一週全体、15 歳以上、茨城県・全国

年次	茨城県		全国		茨城県－全国	
	男	女	男	女	男	女
昭和61年	0.51	1.09	0.51	1.10	0.00	-0.01
平成3年	0.54	1.14	0.56	1.15	-0.02	-0.01
平成8年	1.01	1.19	0.58	1.19	0.03	0.00
平成13年	1.06	1.24	1.02	1.23	0.04	0.01
平成18年	1.08	1.29	1.06	1.25	0.02	0.04
平成23年	1.13	1.30	1.09	1.30	0.04	0.00

図 2-6 男女別身の回りの用事の時間の推移（昭和 61 年～平成 23 年）一週全体、15 歳以上、茨城県



(3) 食事

① 食事時間は年齢が高くなるほど長くなる傾向

食事時間は1時間40分で、男性は1時間37分、女性は1時間43分と女性が6分長くなっている。

年齢階級別にみると、15～24歳が1時間24分と最も短く、次いで25～44歳の各階級が1時間28分などとなっており、75歳以上が2時間10分と最も長くなっている。また、15歳以上は、年齢階級が高くなるほど長くなる傾向がみられる。

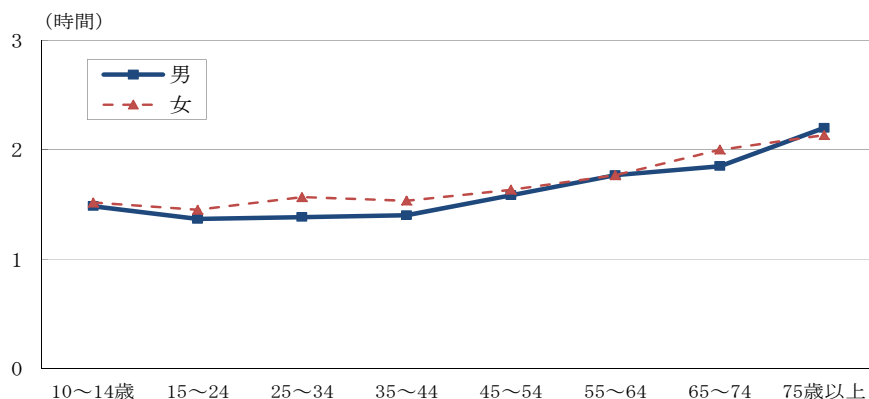
これを男女別にみると、55歳未満及び65～74歳の各年齢階級で女性の方が長く、特に25～34歳で男性より11分長くなっている。

平成18年と比べると、1分の減少となっており、年齢階級別にみると、15～24歳、45～54歳及び75歳以上を除き、すべての年齢階級で減少となっている。(表2-6、図2-7)

表2-6 男女、年齢階級別食事時間(平成18年、23年)一週全体

年齢	総数			男			女			男女差 (男-女)
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年
総数	1.40	1.41	-0.01	1.37	1.39	-0.02	1.43	1.44	-0.01	-0.06
10～14歳	1.30	1.33	-0.03	1.29	1.29	0.00	1.31	1.38	-0.07	-0.02
15～24歳	1.24	1.23	0.01	1.22	1.23	-0.01	1.27	1.24	0.03	-0.05
25～34歳	1.28	1.32	-0.04	1.23	1.25	-0.02	1.34	1.40	-0.06	-0.11
35～44歳	1.28	1.30	-0.02	1.24	1.30	-0.06	1.32	1.31	0.01	-0.08
45～54歳	1.37	1.35	0.02	1.35	1.34	0.01	1.38	1.37	0.01	-0.03
55～64歳	1.46	1.51	-0.05	1.46	1.49	-0.03	1.46	1.52	-0.06	0.00
65～74歳	1.56	2.02	-0.06	1.51	2.00	-0.09	2.00	2.03	-0.03	-0.09
75歳以上	2.10	2.08	0.02	2.12	2.12	0.00	2.08	2.06	0.02	0.04

図2-7 男女、年齢階級別食事時間 一週全体



② 食事時間は過去 25 年間でおおむね横ばい

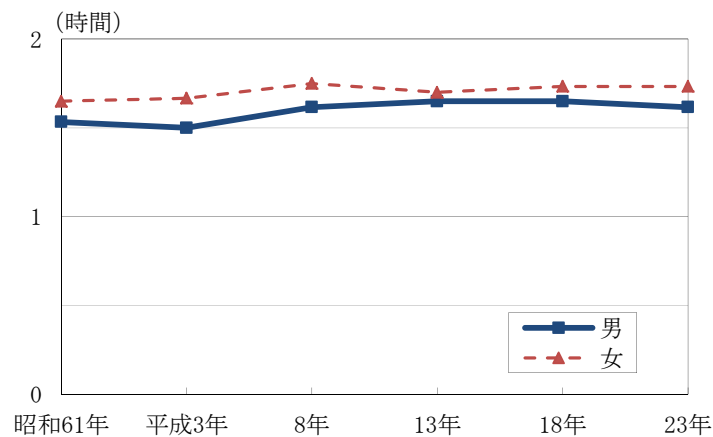
過去 25 年間の食事時間の推移を、比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について男女別にみると、男女ともに数分の増減はあるが、おおむね横ばいとなっている。

全国と比較すると、男性は 1 分、女性は 2 分上回っている。(表 2-7、図 2-8)

表 2-7 男女別食事時間の推移（昭和 61 年～平成 23 年）－週全体，15 歳以上，茨城県・全国

年次	(時間，分)					
	茨城県		全国		茨城県－全国	
	男	女	男	女	男	女
昭和61年	1.32	1.39	1.34	1.41	-0.02	-0.02
平成3年	1.30	1.40	1.33	1.41	-0.03	-0.01
平成8年	1.37	1.45	1.36	1.43	0.01	0.02
平成13年	1.39	1.42	1.36	1.41	0.03	0.01
平成18年	1.39	1.44	1.37	1.43	0.02	0.01
平成23年	1.37	1.44	1.36	1.42	0.01	0.02

図 2-8 男女別食事時間の推移（昭和 61 年～平成 23 年）－週全体，15 歳以上，茨城県



3 2次活動

(1) 仕事

① 仕事時間は、男性は35～44歳、女性は25～34歳が最も長い

有業者（15歳以上。以下同じ。）の仕事時間は6時間で、男性は6時間50分、女性は4時間53分となっている。

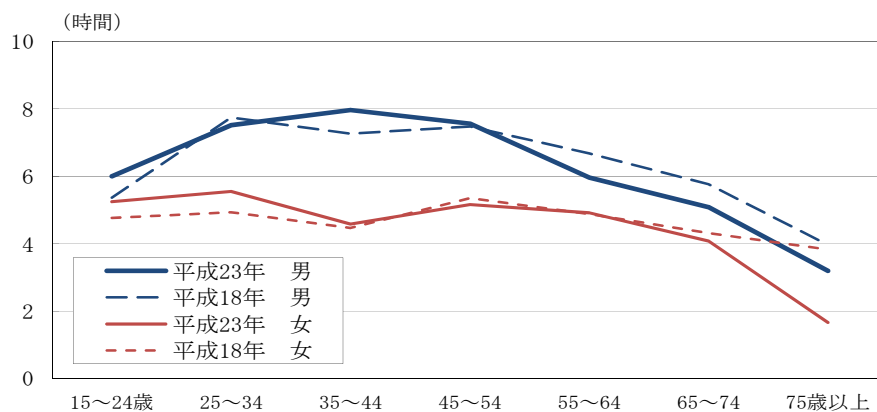
男女、年齢階級別にみると、男性は35～44歳、女性は25～34歳が最も長く、男性は7時間58分、女性は5時間33分となっている。

平成18年と比べると、4分の減少となっており、男性は6分の減少、女性は4分の増加となっている。男女、年齢階級別にみると、男性は15～24歳及び35～54歳を除くすべての年齢階級で減少となった。女性は45歳未満及び55～64歳の年齢階級では増加しているが、45～54歳及び65歳以上の年齢階級では減少しており、特に75歳以上では2時間10分と大幅に減少している。（表3-1、図3-1）

表3-1 男女、年齢階級別仕事時間（平成18年、23年）一週全体、有業者

年 齢	総 数			男			女			男女差 (男-女) 平成23年
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	
総 数	6.00	6.04	-0.04	6.50	6.56	-0.06	4.53	4.49	0.04	1.57
15～24歳	5.35	5.06	0.29	6.00	5.22	0.38	5.15	4.46	0.29	0.45
25～34歳	6.41	6.38	0.03	7.31	7.45	-0.14	5.33	4.56	0.37	1.58
35～44歳	6.35	6.08	0.27	7.58	7.16	0.42	4.35	4.28	0.07	3.23
45～54歳	6.30	6.35	-0.05	7.34	7.29	0.05	5.10	5.21	-0.11	2.24
55～64歳	5.31	6.01	-0.30	5.58	6.41	-0.43	4.55	4.53	0.02	1.03
65～74歳	4.43	5.10	-0.27	5.05	5.46	-0.41	4.05	4.19	-0.14	1.00
75歳以上	2.38	3.52	-1.14	3.12	3.58	-0.46	1.40	3.50	-2.10	1.32

図3-1 男女、年齢階級別仕事時間（平成18年～23年）一週全体、有業者



② 土曜日及び日曜日の仕事時間は男性が減少，女性が増加

有業者の仕事時間を曜日別にみると，平日は7時間8分，土曜日は3時間50分，日曜日は2時間28分となっている。

男女別にみると，男性は，平日が8時間15分，土曜日が4時間4分，日曜日が2時間29分となっており，女性は，平日が5時間39分，土曜日が3時間29分，日曜日が2時間26分となっている。

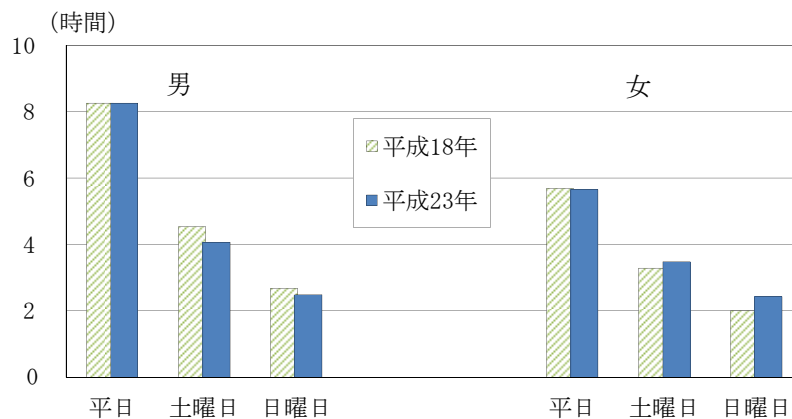
平成18年と比べると，男性は，平日が横ばい，土曜日及び日曜日が減少している。一方，女性は，平日が減少し，土曜日及び日曜日が増加している。(表3-2，図3-2)

表3-2 男女，曜日別仕事時間（平成18年，23年）－有業者

(時間.分)

曜日	総数			男			女		
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減
平日	7.08	7.13	-0.05	8.15	8.15	0.00	5.39	5.41	-0.02
土曜日	3.50	4.01	-0.11	4.04	4.32	-0.28	3.29	3.17	0.12
日曜日	2.28	2.24	0.04	2.29	2.41	-0.12	2.26	2.00	0.26

図3-2 男女，曜日別仕事時間（平成18年，23年）－有業者



③ 女性の仕事時間は過去 25 年間で 37 分減少

過去 25 年間の仕事時間の推移を、比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について男女別にみると、男性は平成 3 年以降減少が続き、18 年に増加に転じたが、23 年で再び減少した。女性は平成 18 年まで減少が続いていたが、23 年で増加となった。

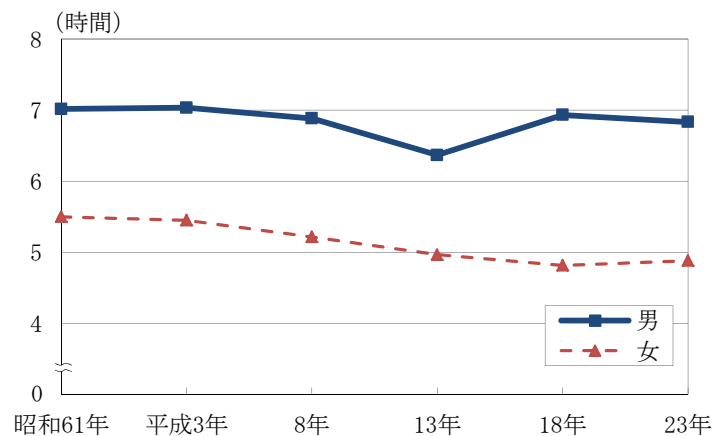
昭和 61 年と比べると、男性が 11 分、女性が 37 分の減少となっている。

全国と比較すると、男性は 6 分下回っており、女性は 3 分上回っている。(表 3-3, 図 3-3)

表 3-3 男女別仕事時間の推移（昭和 61 年～平成 23 年）一週全体、有業者
茨城県・全国

年次	茨城県		全国		茨城県－全国	
	男	女	男	女	男	女
昭和61年	7.01	5.30	7.24	5.39	0.11	-0.09
平成3年	7.02	5.27	7.10	5.24	-0.08	0.03
平成8年	6.53	5.13	7.00	5.11	0.10	0.02
平成13年	6.22	4.58	6.48	4.51	-0.26	0.07
平成18年	6.56	4.49	7.00	5.00	-0.44	-0.51
平成23年	6.50	4.53	6.56	4.50	-0.06	0.03

図 3-3 男女別仕事時間の推移（昭和 61 年～平成 23 年）一週全体、有業者
茨城県



④ 雇用されている人の仕事時間は6時間12分、自営業主は5時間53分

有業者について、従業上の地位別に仕事時間をみると、雇用されている人が6時間12分、自営業主が5時間53分となっている。男女別にみると、男性は、雇用されている人が7時間7分、自営業主が6時間7分となっており、女性は、雇用されている人が5時間7分、自営業主が4時間32分となっている。

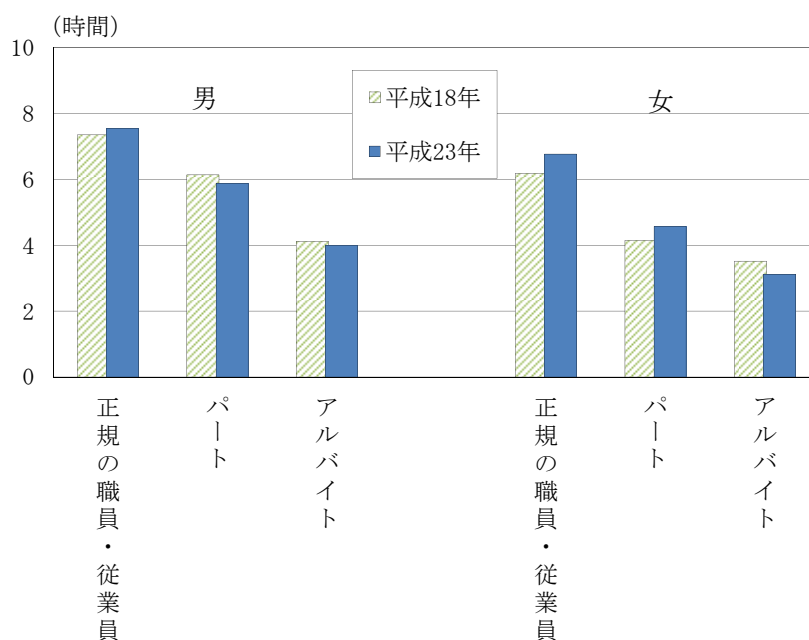
雇用されている人について、雇用形態別に仕事時間をみると、正規の職員・従業員が7時間22分、パートが4時間38分、アルバイトが3時間29分となっている。

これを平成18年と比べると、正規の職員・従業員は19分増加、パートは14分増加、アルバイトは23分減少している。(表3-4, 図3-4)

表3-4 男女、従業上の地位、雇用形態別仕事時間(平成18年, 23年)一週全体, 有業者

従業上の地位 雇用形態	総数			男			女		
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減
雇用されている人	6.12	6.08	0.04	7.07	7.00	0.07	5.07	4.51	0.16
正規の職員・従業員	7.22	7.03	0.19	7.33	7.21	0.12	6.46	6.11	0.35
パート	4.38	4.24	0.14	5.53	6.08	-0.15	4.34	4.09	0.25
アルバイト	3.29	3.52	-0.23	4.00	4.07	-0.07	3.07	3.31	-0.24
自営業主	5.53	6.09	-0.16	6.07	6.30	-0.23	4.32	5.18	-0.46

図3-4 男女、雇用形態別仕事時間(平成18年, 23年)一週全体, 雇用されている人



(2) 家事関連

① 女性の家事関連時間は15～64歳の幅広い年齢階級で減少

家事関連時間は2時間で、男性は39分、女性は3時間22分と男女の間に依然として大きな差が見られる。

男女、年齢階級別にみると、男性は65～74歳が57分と最も長くなっている。一方、女性は35～54歳及び65～74歳の年齢階級で4時間以上となっており、なかでも35～44歳が4時間34分と最も長くなっている。

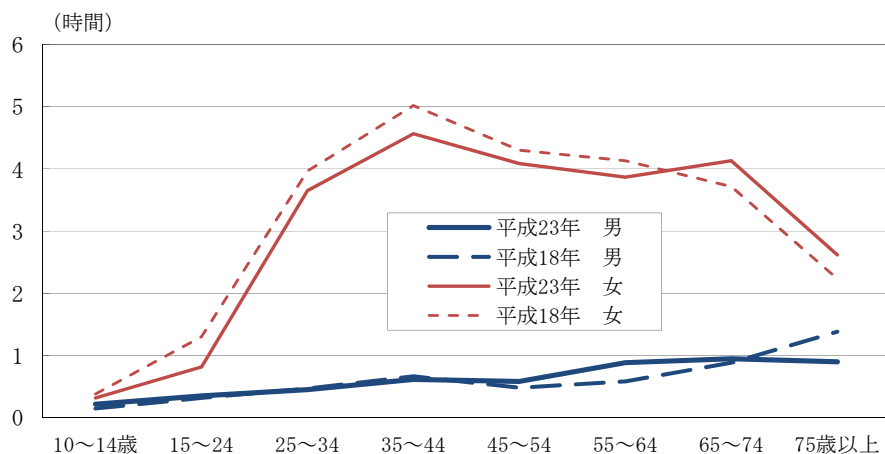
男女別に平成18年と比べると、男性は3分の増加、女性は6分の減少となっている。

これを年齢階級別にみると、男性は25～44歳及び75歳以上を除くすべての年齢階級で増加となっている。一方、女性は10～64歳の幅広い年齢階級で減少しており、特に15～24歳で29分、35～44歳で27分と減少幅が大きくなっている。(表3-5、図3-5)

表3-5 男女、年齢階級別家事関連時間(平成18年、23年)一週全体

年齢	総数			男			女			男女差 (男-女)
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年
総数	2.00	2.02	-0.02	0.39	0.36	0.03	3.22	3.28	-0.06	-2.43
10～14歳	0.16	0.17	-0.01	0.13	0.09	0.04	0.19	0.23	-0.04	-0.06
15～24歳	0.34	0.46	-0.12	0.21	0.19	0.02	0.49	1.18	-0.29	-0.28
25～34歳	1.58	2.09	-0.11	0.27	0.28	-0.01	3.39	3.58	-0.19	-3.12
35～44歳	2.31	2.46	-0.15	0.37	0.40	-0.03	4.34	5.01	-0.27	-3.57
45～54歳	2.19	2.22	-0.03	0.35	0.29	0.06	4.05	4.18	-0.13	-3.30
55～64歳	2.23	2.22	0.01	0.53	0.35	0.18	3.52	4.08	-0.16	-2.59
65～74歳	2.34	2.20	0.14	0.57	0.53	0.04	4.08	3.43	0.25	-3.11
75歳以上	1.55	1.55	0.00	0.54	1.23	-0.29	2.37	2.14	0.23	-1.43

図3-5 男女、年齢階級別家事関連時間(平成18年、23年)一週全体



② 家事関連時間は、男性はすべての曜日で増加、女性はすべての曜日で減少

家事関連時間を曜日別にみると、平日が1時間53分、土曜日が2時間14分、日曜日が2時間23分となっており、平日と比べると日曜日は30分長くなっている。

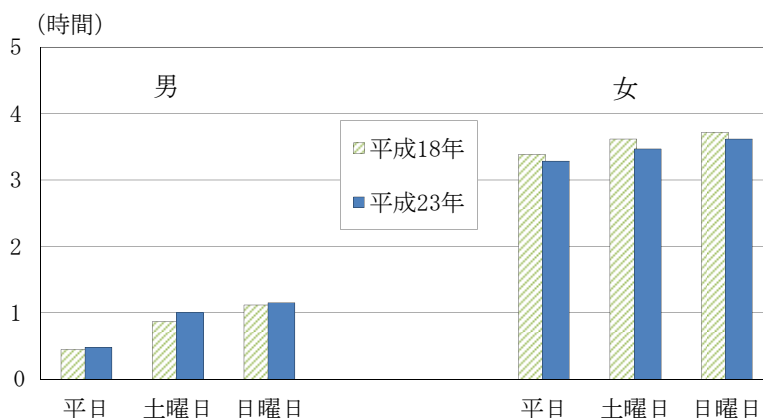
これを男女別に平成18年と比べると、男性はすべての曜日で増加となっているのに対し、女性はすべての曜日で減少となっている。(表3-6、図3-6)

表3-6 男女、曜日別家事時間(平成18年, 23年)

(時間, 分)

曜 日	総 数			男			女		
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減
平 日	1.53	1.55	-0.02	0.29	0.27	0.02	3.17	3.23	-0.06
土曜日	2.14	2.14	0.00	1.00	0.52	0.08	3.28	3.37	-0.09
日曜日	2.23	2.25	-0.02	1.09	1.07	0.02	3.37	3.43	-0.06

図3-6 男女、曜日別家事時間(平成18年, 23年)



③ 平日及び日曜日の家事関連時間は、妻が無業の夫より共働きの夫の方が短い

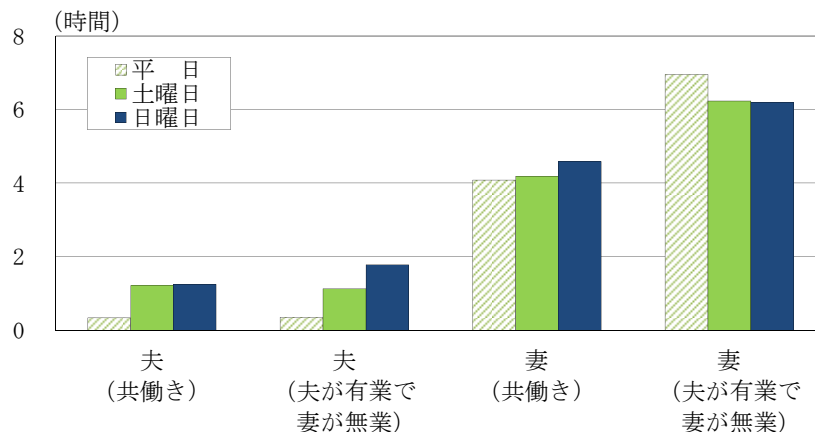
夫婦の家事関連時間を、共働きか否かの別にみると、夫は平日及び日曜日は妻が無業の夫の方が、土曜日は共働きの夫の方が長くなっており、平日は1分、土曜日は5分、日曜日は32分の差となっている。一方、妻はすべての曜日で無業の妻の方が共働きの妻より長く、平日は2時間52分、土曜日は2時間3分、日曜日は1時間37分の差となっている。

共働きの妻の家事関連時間は無業の妻より短い、それでも平日、土曜日、日曜日のいずれも4時間以上となっているのに対し、夫の家事関連時間は共働きか否かにかかわらず平日は20分台、土曜日及び日曜日も1時間台と、大きな差となっている。(表3-7、図3-7)

表3-7 夫婦、共働きか否か、曜日別家事関連時間 -15歳以上

		(時間. 分)				
夫 婦, 曜 日		家事関連時間	家事	介護・看護	育児	買い物
夫						
夫が有業で妻も有業 (共働き)						
平 日		0.20	0.09	0.00	0.03	0.08
土曜日		1.13	0.21	0.01	0.15	0.36
日曜日		1.15	0.25	0.01	0.12	0.37
夫が有業で妻が無業						
平 日		0.21	0.06	0.00	0.07	0.08
土曜日		1.08	0.17	0.03	0.13	0.35
日曜日		1.47	0.29	0.02	0.25	0.51
妻						
夫が有業で妻も有業 (共働き)						
平 日		4.05	3.09	0.04	0.27	0.25
土曜日		4.11	2.49	0.05	0.31	0.46
日曜日		4.35	3.08	0.03	0.30	0.54
夫が有業で妻が無業						
平 日		6.57	4.42	0.03	1.24	0.48
土曜日		6.14	3.59	0.12	1.06	0.57
日曜日		6.12	3.58	0.08	0.56	1.10

図3-7 夫婦、共働きか否か、曜日別家事関連時間 -15歳以上



④ 家事関連時間の男女の差は縮小しているが依然として大きい

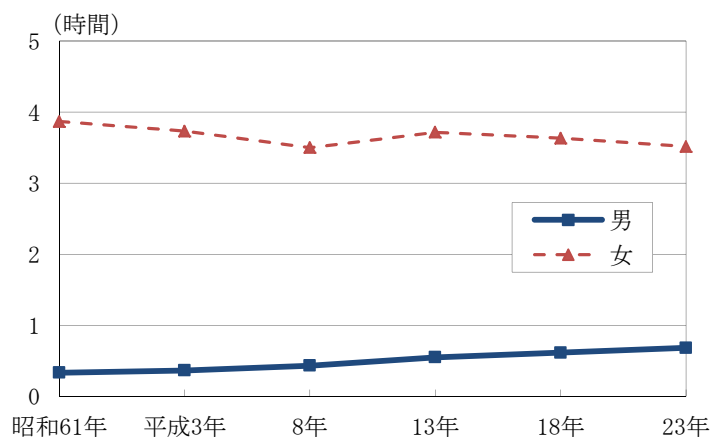
過去 25 年間の家事関連時間の推移を、比較可能な年齢区分である 15 歳以上の人について男女別にみると、男性は一貫して増加しており、昭和 61 年と比べると、21 分の増加となっている。一方、女性は平成 8 年まで減少が続き、13 年に増加に転じたが、18 年以降は再び減少が続いており、昭和 61 年と比べると 21 分の減少となっている。男女の差は縮小しているが、依然として大きい。(表 3-8, 図 3-8)

表 3-8 男女別家事関連時間の推移(昭和 61 年～平成 23 年)一週全体, 15 歳以上,
茨城県・全国

(時間. 分)

年次	茨城県		全国		茨城県-全国	
	男	女	男	女	男	女
昭和61年	0.20	3.52	0.18	4.00	0.02	-0.08
平成3年	0.22	3.44	0.24	3.52	-0.02	-0.08
平成8年	0.26	3.30	0.27	3.46	-0.01	-0.16
平成13年	0.33	3.43	0.33	3.45	0.00	-0.02
平成18年	0.37	3.38	0.39	3.44	-0.02	-0.06
平成23年	0.41	3.31	0.43	3.45	-0.02	-0.14

図 3-8 男女別家事関連時間の推移(昭和 61 年～平成 23 年)一週全体, 15 歳以上,
茨城県



4 3次活動

(1) 休養等自由時間活動

休養等自由時間活動は65歳以上で男性の方が30分以上長い

休養等自由時間活動の時間は3時間53分で、男性は3時間52分、女性は3時間53分となっている。

男女、年齢階級別にみると、15～24歳及び55歳以上の各年齢階級で男性の方が長くなっており、最も差が大きいのは75歳以上で、男性が50分長くなっている。

平成18年と比べると、5分の増加となっており、男性は増減なし、女性は7分の増加となっている。年齢階級別にみると、男性は25～34歳及び55～74歳で増加、それ以外は減少となっており、特に15～24歳の年齢階級で50分と大きく減少した。女性は35歳未満で減少、35歳以上のすべての年齢階級で増加となった。(表4-1, 図4-1, 2)

表4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間(平成18年, 23年)一週全体

年齢	総数			男			女			男女差 (男-女)
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年
総数	3.53	3.48	0.05	3.52	3.52	0.00	3.53	3.46	0.07	-0.01
10～14歳	3.07	3.15	-0.08	3.01	3.11	-0.10	3.13	3.18	-0.05	-0.12
15～24歳	2.49	3.24	-0.35	2.49	3.39	-0.50	2.48	3.08	-0.20	0.01
25～34歳	2.49	2.54	-0.05	2.48	2.39	0.09	2.51	3.10	-0.19	-0.03
35～44歳	3.16	3.15	0.01	3.06	3.25	-0.19	3.26	3.03	0.23	-0.20
45～54歳	3.28	3.32	-0.04	3.22	3.34	-0.12	3.35	3.30	0.05	-0.13
55～64歳	4.05	3.47	0.18	4.19	4.00	0.19	3.53	3.34	0.19	0.26
65～74歳	4.54	4.38	0.16	5.12	4.48	0.24	4.35	4.28	0.07	0.37
75歳以上	6.28	6.28	0.00	6.58	7.09	-0.11	6.08	6.02	0.06	0.50

図4-1 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間 一週全体

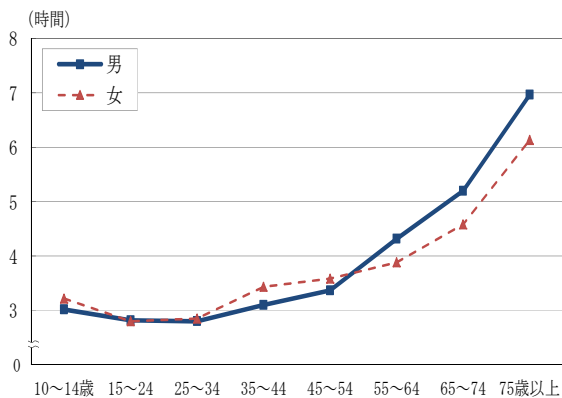
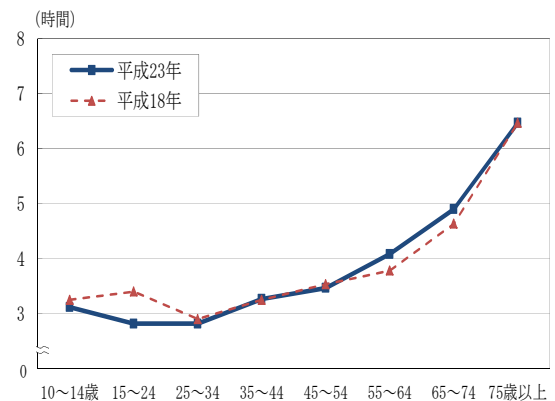


図4-2 年齢階級別休養等自由時間活動の時間(平成18年, 23年)一週全体



(2) 積極的自由時間活動

積極的自由時間活動はすべての年齢階級で男性の方が長い

積極的自由時間活動の時間は1時間12分で、男性は1時間23分、女性は1時間2分となっている。

男女、年齢階級別にみると、男女ともに10～14歳で最も長く、男性は45～54歳、女性は75歳以上で最も短くなっている。また、すべての年齢階級で男性の方が長くなっており、その差は15～24歳で最も大きく43分となっている。

平成18年と比べると、5分の減少となっており、男女別では、男性、女性ともに4分の減少となっている。年齢階級別にみると、男性は15～34歳及び65～74歳で増加、それ以外は減少となっており、特に10～14歳で32分と大きく減少した。女性は15～24歳、35～44歳及び65～74歳で増加、それ以外は減少となっている。(表4-2, 図4-3, 4)

表4-2 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間(平成18年, 23年)一週全体

年齢	総数			男			女			男女差 (男-女)
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年
総数	1.12	1.17	-0.05	1.23	1.27	-0.04	1.02	1.06	-0.04	0.21
10～14歳	2.25	2.45	-0.20	2.35	3.07	-0.32	2.14	2.22	-0.08	0.21
15～24歳	2.00	1.53	0.07	2.21	2.19	0.02	1.38	1.27	0.11	0.43
25～34歳	1.11	1.09	0.02	1.29	1.19	0.10	0.53	0.58	-0.05	0.36
35～44歳	0.54	0.51	0.03	0.55	0.56	-0.01	0.52	0.45	0.07	0.03
45～54歳	0.44	0.56	-0.12	0.46	0.53	-0.07	0.41	0.59	-0.18	0.05
55～64歳	1.02	1.12	-0.10	1.10	1.13	-0.03	0.55	1.10	-0.15	0.15
65～74歳	1.36	1.29	0.07	1.50	1.44	0.06	1.21	1.14	0.07	0.29
75歳以上	0.41	0.50	-0.09	0.52	1.08	-0.16	0.33	0.38	-0.05	0.19

図4-3 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間 一週全体

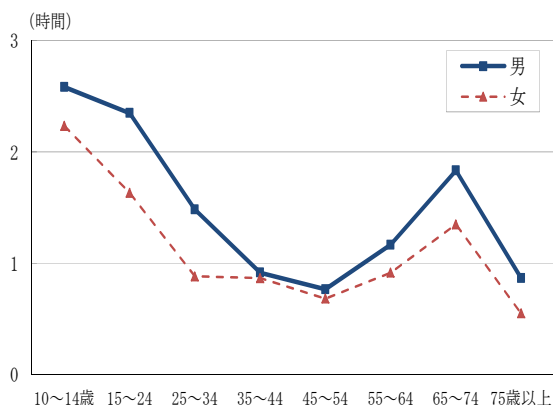
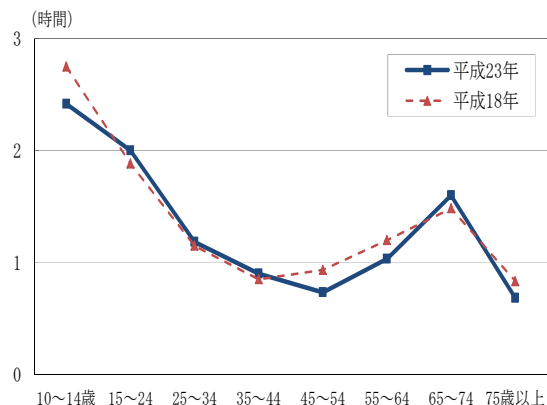


図4-4 年齢階級別積極的自由時間活動の時間(平成18年, 23年)一週全体



(3) 交際・付き合い

交際・付き合いの時間は男女ともに15～24歳で最も長い

交際・付き合いの時間は18分で、男女ともに18分となっている。

男女、年齢階級別にみると、男女ともに15～24歳で最も長く、男性は34分、女性は29分となっている。

平成18年と比べると、1分の減少となっており、男性は1分の増加、女性は4分の減少となっている。年齢階級別にみると、男性は25～34歳及び55～74歳で減少、それ以外は増加となっており、女性は65～74歳を除くすべての年齢階級で減少となっている。(表4-3, 図4-5, 6)

表4-3 男女、年齢階級別交際・付き合いの時間(平成18年, 23年)一週全体

年齢	総数			男			女			男女差 (男-女)
	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年	平成18年	増減	平成23年
総数	18	19	-1	18	17	1	18	22	-4	0
10～14歳	12	12	0	15	14	1	8	10	-2	7
15～24歳	31	28	3	34	20	14	29	36	-7	5
25～34歳	17	24	-7	18	25	-7	16	23	-7	2
35～44歳	16	15	1	16	10	6	16	21	-5	0
45～54歳	13	14	-1	13	12	1	14	15	-1	-1
55～64歳	13	19	-6	13	15	-2	12	23	-11	1
65～74歳	24	24	0	23	27	-4	25	22	3	-2
75歳以上	17	13	4	15	4	11	18	19	-1	-3

図4-5 男女、年齢階級別交際・付き合いの時間 一週全体

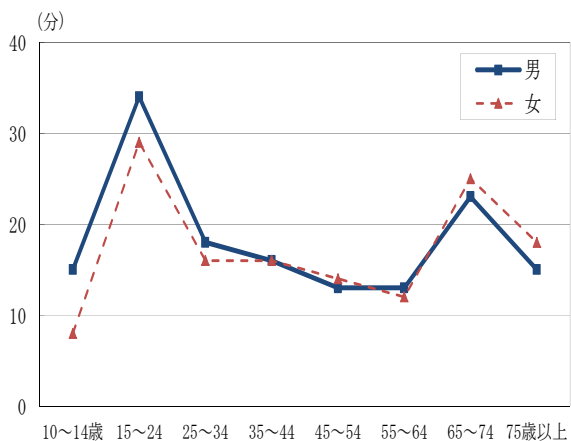
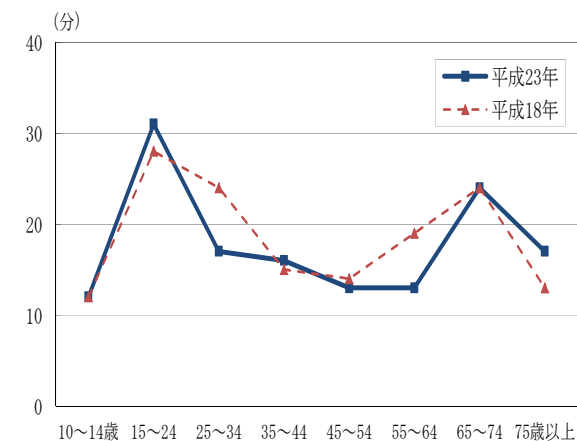


図4-6 年齢階級別交際・付き合いの時間 (平成18年, 23年)一週全体



(4) 主な行動の種類別3次活動時間の推移

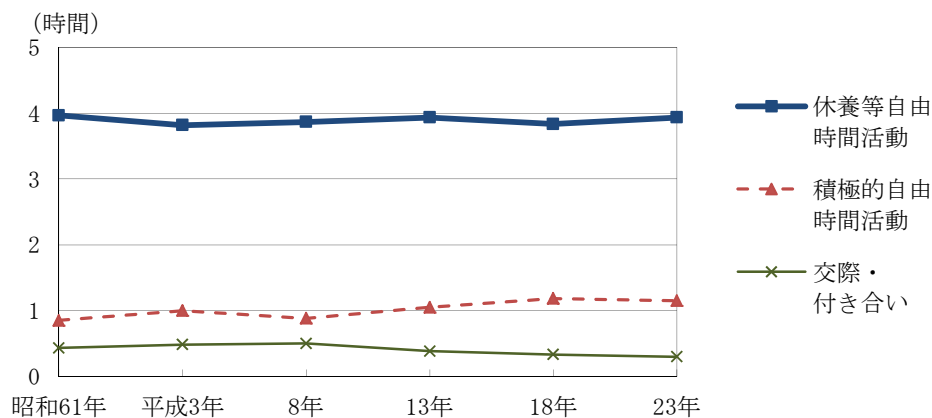
交際・付き合いの時間は過去25年間で最も短い

過去25年間の主な行動の種類別3次活動時間の推移を、比較可能な年齢区分である15歳以上の人についてみると、休養等自由時間活動の時間はおおむね横ばい、積極的自由時間活動の時間は増加と減少を繰り返しており、平成23年では減少となった。交際・付き合いの時間は平成13年以降減少しており、23年が過去25年間で最も短くなっている。(表4-4、図4-7)

表4-4 主な行動の種類別3次活動時間の推移(昭和61年～平成23年)一週全体、15歳以上

年次	(時間.分)		
	休養等自由 時間活動	積極的自由 時間活動	交際・ 付き合い
昭和61年	3.58	0.51	0.26
平成3年	3.49	1.00	0.29
平成8年	3.52	0.53	0.30
平成13年	3.56	1.03	0.23
平成18年	3.50	1.11	0.20
平成23年	3.56	1.09	0.18

図4-7 主な行動の種類別3次活動時間の推移(昭和61年～平成23年)一週全体、15歳以上



5 主な行動の平均時刻

(1) 起床, 朝食開始, 夕食開始及び就寝時刻

男女間の差が最も大きいのは土曜日の起床時刻

平日における10歳以上の主な行動の平均時刻をみると、起床時刻が6時27分、朝食開始時刻が7時2分、夕食開始時刻が19時6分、就寝時刻が23時2分となっており、夕食開始時刻は全国と同じ、それ以外はすべて全国より早くなっている。

男女間で最も差が大きかったのは、土曜日の起床時刻であり、女性の方が男性より22分早い時刻となっている。(表5-1)

表5-1 男女, 曜日別主な行動の平均時刻 ー茨城県・全国

(時:分)

		起床			朝食開始			夕食開始			就寝		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
茨城県	平日	6:27	6:33	6:21	7:02	6:56	7:07	19:06	19:14	18:58	23:02	23:01	23:04
	土曜日	6:55	7:06	6:44	7:28	7:26	7:30	18:53	18:57	18:50	23:02	23:03	23:00
	日曜日	7:08	7:17	7:01	7:33	7:29	7:36	18:41	18:42	18:41	22:47	22:48	22:46
全国	平日	6:37	6:46	6:28	7:10	7:05	7:15	19:06	19:17	18:55	23:15	23:19	23:11
	土曜日	7:08	7:19	6:59	7:33	7:31	7:35	18:51	18:56	18:45	23:17	23:19	23:15
	日曜日	7:17	7:28	7:07	7:41	7:38	7:43	18:44	18:49	18:41	23:06	23:06	23:07

(2) 出勤及び帰宅時刻

平日の平均出勤時刻は8時15分、平均帰宅時刻は18時50分

平日における有業者の平均出勤時刻は8時15分で、全国と比べると11分早くなっており、男女別にみると、男性の方が59分早くなっている。

平日における有業者の平均帰宅時刻は18時50分で、全国と比べると6分早くなっており、男女別にみると、女性の方が1時間36分早くなっている。(表5-2)

表5-2 出勤及び仕事からの帰宅の平均時刻 ー平日, 有業者, 茨城県・全国

(時:分)

	出勤			仕事からの帰宅		
	総数	男	女	総数	男	女
茨城県	8:15	7:52	8:51	18:50	19:28	17:52
全国	8:26	8:06	8:55	18:56	19:37	17:56